

選挙の記録

令和5年12月10日執行 江東区長選挙

令和6年 4月28日執行 衆議院議員補欠選挙

令和6年 7月 7日執行 東京都知事選挙
東京都議会議員補欠選挙

令和6年10月27日執行 衆議院議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査



江東区

江東区長選挙

<公営ポスター掲示場>



<投票所風景> 第10投票所 深川第二中学校



<開票所風景> 深川スポーツセンター



衆議院議員補欠選挙

＜公営ポスター掲示場＞



＜投票所風景＞第43投票所 砂町小学校



＜開票所風景＞ホテルイースト21 永代の間



東京都知事選挙・東京都議会議員補欠選挙

＜公営ポスター掲示場（東京都知事選挙）＞



＜公営ポスター掲示場（東京都議会議員補欠選挙）＞



＜開票所風景＞ホテルイースト21 多目的ホール



衆議院議員選挙

< 公営ポスター掲示場 >



< 投票所風景 > 第 3 6 投票所 第二大島小学校



< 開票所風景 > 江東区スポーツ会館



は し が き

これは、令和5年に執行された江東区長選挙（以下「区長選」と略す。）及び令和6年に執行された衆議院議員補欠選挙（以下「衆院補選」と略す。）、東京都知事選挙・東京都議会議員補欠選挙（以下「知事選・都議補選」と略す。）、衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査（以下「衆院選」と略す。）についての記録です。

当時区長であった木村弥生氏は、有料のインターネット広告を使った選挙運動に公職選挙法違反の疑いがかかり、令和5年10月26日に区議会議長あてに辞職する旨の届出を行い、11月15日付で辞職することとなりました。選挙管理委員会としては、10月31日に区長選を行う事由が生じたことを告示し、区長選は12月3日告示、10日投・開票とすることを決定しました。約半年前の令和5年4月に江東区議会議員選挙・江東区長選挙が執行されて間もないうえに、わずか40日程度という大変短い期間の中で選挙準備を行うという極めて異例な状況となりました。

投票率につきましては、39.20%で4月に実施された区長選より9.66ポイントの減となりました。これは、全国的に行われる統一地方選挙ではなく、本区単独で執行されたことにより、選挙人の関心が集まりにくかったことによるものと捉えております。

また、開票につきましては、急な選挙のため、原則、開票所として使用している「ホテルイースト21東京 多目的ホール」の予約がとれなかったことから、平成28年に執行された東京都知事選挙以来7年ぶりに「深川スポーツセンター」で行いました。慣れない会場ではありましたが、大きな混乱もなく、無事に開票作業を終了することができました。

令和6年2月1日、先の区長選を巡る公職選挙法違反の罪に問われた柿沢未途元衆議院議員の辞職に伴い、4月16日告示、28日に欠員補充の衆院補選の投・開票が執行されました。

第15区では、過去最多となる9名が立候補しましたが、投票率につきましては、40.70%と過去最低となりました。地元の国会議員や区長が相次いで立件される事態となり、選挙人が政治に対し不信感を募らせたことが、投票率低下の要因の一つと捉えております。

また、一部の立候補者が他陣営の選挙運動を妨害し、選挙人から不安や困惑の声が多数寄せられました。そのため、警察署と情報共有などを図り、対応に追われることとなりました。

開票につきましては、平成25年に執行された東京都議会議員選挙以来11年ぶりに「ホテルイースト21東京 永代の間」で行いましたが、大きな混乱

もなく、無事に開票作業を終了することができました。

令和6年7月30日任期満了に伴う知事選が6月20日告示、7月7日に投・開票が執行されました。

これにより、江東区選挙管理委員会では、江東区選挙区内の東京都議会議員に1名の欠員が生じていたため、都議補選（6月28日告示）を併せて執行することになりました。

都議補選では、知事選と告示日が異なるため、選挙人に混乱が生じないように、期日前投票所やホームページで周知する等の対応をとりました。

知事選のポスター掲示場においては、掲示区画を上回る立候補者数となったため、東京都選挙管理委員会により、不足分はクリアファイルを用いてポスター掲示場の外周に貼るといった対応がとられました。

本区における知事選の投票率について61.18%と、前回と比べ4.25ポイント増となり、東京都全体の投票率（60.62%）や23区平均の投票率（60.44%）を上回りました。

衆院選は10月15日公示、27日投・開票が執行されました。

任期満了に伴う自民党総裁選が9月27日に行われ、新総裁に石破氏が選出されました。10月1日召集の臨時国会で首相に指名され、9日衆議院を解散し、解散後の臨時閣議で衆院選の日程が決まりました。首相就任から8日後の解散は戦後最短であり、解散から投・開票までは18日間となり、2021年衆院選の17日間に次いで戦後2番目に短い選挙となりました。

そのため、石破首相が就任前の「解散宣言」で選挙日程を示されていたものの、入場整理券の郵送が間に合わず、公示日までに一部の選挙人の手元に届かないという事態が生じました。

開票につきましては、急な選挙のため、令和3年衆院選で使用した「江東区スポーツ会館」で行いました。3年ぶりの会場ではありましたが、無事に開票作業を終了することができました。

短期間に4つの選挙を執行することとなりましたが、混乱なく無事に執り行うことができましたことは、関係各位の多大なるご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ここに選挙の記録をまとめましたので、ご高覧いただき、ご活用いただければ幸いです。

今後とも選挙事務の執行に、ご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

江東区選挙管理委員会